

自主企画で学生生活を 意義あるものに

私は、新入生諸君には毎年クラブ・サークルに積極的に参加することを呼びかけている。それは、大学における課外活動は学生生活を充実するために欠かせない存在だからである。

学生諸君がクラブ・サークルに参加することは、スポーツ系なら、①健康な体をつくる、②チャレンジ精神を養う、③ルール、マナー感覚が身につく、④集団性が身につく、⑤協調性が養われる、⑥リーダーとしての指導性が培われる、といったメリットが挙げられる。

しかし、クラブ・サークルはどちらかといえば、学生諸君の個人利益の活動であるが、近年では、学生がグループを作って自主的な企画を立て、集団的な学習力向上や地域社会貢献などに取り組む動きが盛んになってきた。大学側では、この動きを支援するために、平成 18 年度から「学生自主企画プロジェクト」を募集している。

平成 20 年度に採択されたものを紹介すると、①皿洗一学園祭におけるお皿のリユースプロジェクト（教育学部、ボランティア）②障害児教育・研究の国際交流（教育学部、教育交流）③地域どろんこフェスティバル（教育学部、地域貢献）④ASSIST-CHILDREN（経済学部、ボランティア）⑤SIFE の主旨による地域貢献活動（経済学部、地域貢献）⑥『知り隊!教え隊!井伊直弼』（経済学部、地域貢献）



滋賀大学長 成瀬 龍夫

⑦滋賀大学 BDF バスプロジェクト（経済学部、地域貢献）。それぞれの企画については、年度末に成果報告会で苦労話も語られる。

3年間続いているプロジェクトもあるが、そのなかで SIFE のように、平成 19 年度に国内大会で東大や一橋大を破って優勝し、ニューヨークで開催された世界大会に出場した大活躍の企画がある。また、『知り隊!教え隊!井伊直弼』は、井伊直弼のマスコットキャラクター「カモンちゃん」を制作して人気を呼んだ。BDF バスプロジェクトも TV、新聞等で環境問題に関する意欲的な学生企画として報道された。

クラブ・サークル活動が大学内の伝統的な課外活動であるとするれば、自主企画はまったく新しいタイプの活動であるといってよく、社会への積極的な貢献や外部との交流に集団的に挑戦するものである。新入生諸君は、このような自主企画活動にも関心を持ち、創造的な内容で活躍してほしい。